

平成27年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名	西成区
学校名	大阪市立今宮中学校
学校長名	堀端和彦

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成27年4月21日（火）に、3年生を対象として、「教科（国語・数学・理科）に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただきため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの学力向上をめざしています。学校の現状や取組の参考にしていただきたいと思います。

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準向上の観点から、生徒の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、数学、理科）

- ・主として「知識」に関する問題（A問題）
 - ・主として「活用」に関する問題（B問題）
- ※ 理科については、主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に出題

(2) 質問紙調査

- ・生徒に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の中学校第3学年の原則として全生徒
- ・大阪市立今宮中学校では、第3学年 48名

平成27年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

全般的に昨年度より若干上昇したように見えるが、生徒数が少ないので、そこを見るより、内容について吟味する必要があると考える。国語は全国、大阪市平均よりやや低いが、大きな差は無い。無回答率も低く、がんばって取り組んでいる様子がうかがえる。数学については、領域としては「資料の活用」がA、B共に低く、本校生徒の苦手領域なのかと考えられる。評価の観点においてはB問題で「数学的な技能」において、正答率が低く、無回答率は高い。強化を図るべきポイントであろう。問題形式においては「記述式」が苦手なようで、無回答率が高い。理科は「生物的領域」で苦手が多く、無回答率が高い。評価の観点においては「観察・実験の技能」が全国よりもかなり低い。週に1～2度の実験を行っているが、方法の検討が必要であろう。問題形式では短答式、記述式が苦手で、論理的思考やしっかりととした理解に結びついていないなどの課題があると考えられる。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】活用に関する問題については、ほぼ全国平均であるが、知識に関する問題の正答率がかなり低く、生徒質問紙でもニュースや新聞を読んでいる生徒が少ない。新聞や読書など、読む習慣をつけさせたい。また、自分の考えをまとめることができ苦手な生徒が多いので、考えたことを発表したり、文にまとめたりする時間を増やしていきたい。

【数学】数学Aにおいては「資料の活用」や「確率」、「図形の移動」などの分野の得点率が低いことから、中学校において一度しか学んでいない分野が極端に苦手なことがわかる。Bにおいてもやはり「資料の活用」が苦手であり、一度学んだ学習の復習が徹底できていないと分析できる。授業以外での復習の徹底には家庭学習を欠かすことができず、その徹底のためには数学への興味関心や意欲態度のさらなる向上が不可欠であると感じられる。

【理科】正答率において全国平均を下回る。特に生物的領域において、全国との差があり、無回答率も高い。生物的領域は「知識・理解」に関する問題が主であるため授業で学習した内容を繰り返し復習していく必要がある。また、生徒質問紙より、「理科の勉強は好きですか」の問い合わせに対して、「当てはまる」と回答した生徒の割合が低いことから、ICT機器を活用した授業づくりや実験・観察を通して理科の「面白さ」を伝えていく必要があると考える。

質問紙調査より

設問1 「朝食を毎日食べていますか」については、例年の事ながら、国、市平均と比べても低い。基本的生活習慣としての「早寝、早起き、朝ご飯」が定着していない。家庭との連携も必要であるが、中学3年生ならある程度自力ができるはずだが、設問10からのテレビ、ビデオの視聴時間、11のゲームの時間、12のメールや通話の時間が国、市を圧倒する時間を割いている。逆算すれば、寝る時間、家で学習する時間が短くなるのは当然である。こういった生活に密着した部分の指導をどうしていくのかが、一番の課題である。13、14の平日、土日の学習時間についてもこれらを反映している。上の状況で学習時間を確保できるはずもない。しかしながら、毎日3時間以上学習している生徒も一定割合いて、その割合は全国、市を上回っている。16の読書時間についても、半数が読まないと回答しているが、毎日2時間以上と回答している生徒は国、市の2倍近い。24「学校に行くのは楽しいと思いますか」では肯定的回答が圧倒的で、国、市より高いのは良いが、「楽しい」の質についても考える必要がある。

今後の取組

一番の課題は基本的生活習慣の確立である。保護者と連携しながら、学校での学習が最高の条件で行えるように心身を整えていくことが一番大切である。一方で、校内の取り組みとして、習熟度別少人数学習による基礎の定着、発展・応用に対応できる力の育成、言語力や論理的思考力の育成を図る必要がある。そのために、学習教材データ配信の活用、ICTを活用した授業を更に進めることが必要である。また、施設一体型小中一貫校として、小学生との交流も盛んにし、中学生としての自覚、自己有用感の育成をめざす。

【 全体の概要 】

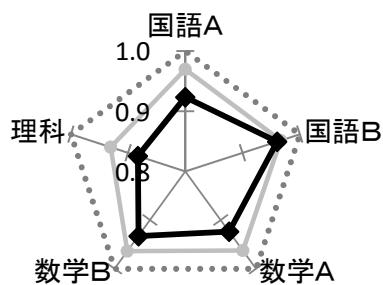
平均正答率 (%)

	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
学校	70.0	63.2	59.5	38.8	46.8
大阪市	73.5	63.6	62.0	40.1	49.3
全国	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0

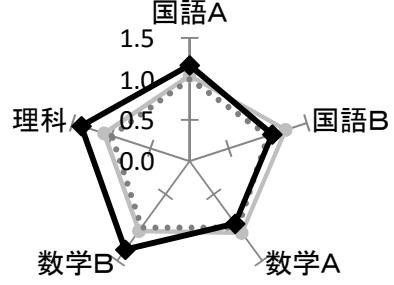
平均無解答率 (%)

	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
学校	3.0	2.3	3.5	20.4	9.7
大阪市	2.7	2.7	4.0	16.1	7.6
全国	2.6	2.2	3.7	15.3	7.0

平均正答率(対全国比)



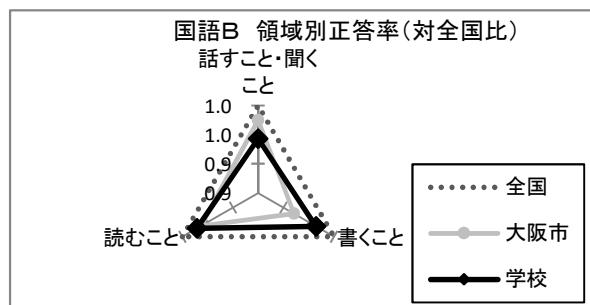
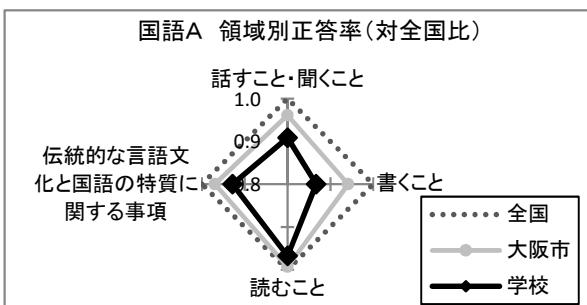
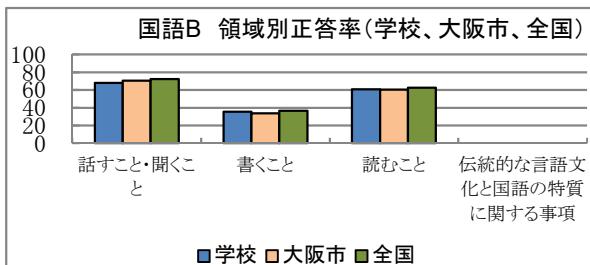
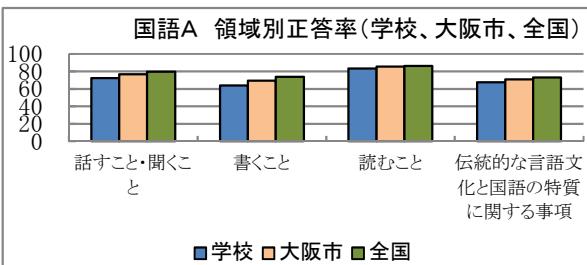
平均無解答率(対全国比)



【 国 語 】

A 問 題	平均正答率(%)			
	学校	大阪市	全国	
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	4	72.4	76.6
	書くこと	5	63.8	69.3
	読むこと	5	83.3	85.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	19	67.7	70.7

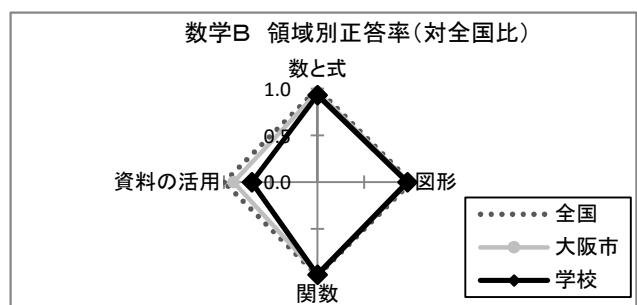
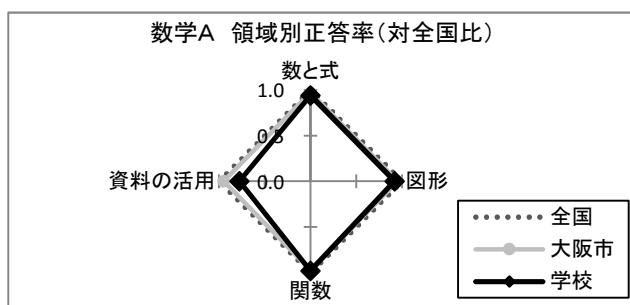
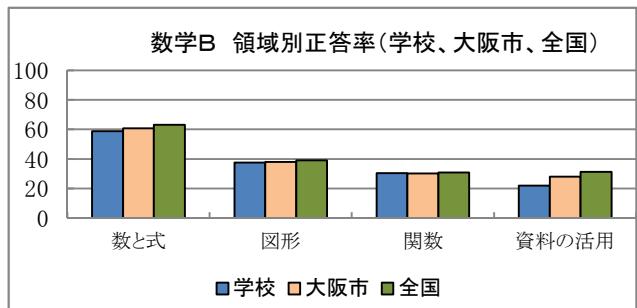
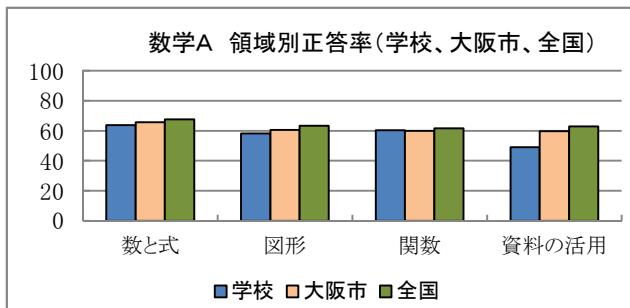
B 問 題	平均正答率(%)			
	学校	大阪市	全国	
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	68.1	70.4
	書くこと	3	35.4	33.8
	読むこと	6	60.8	60.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	—	—	—



【 数 学 】

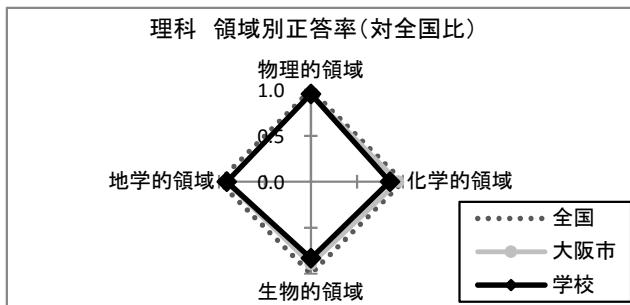
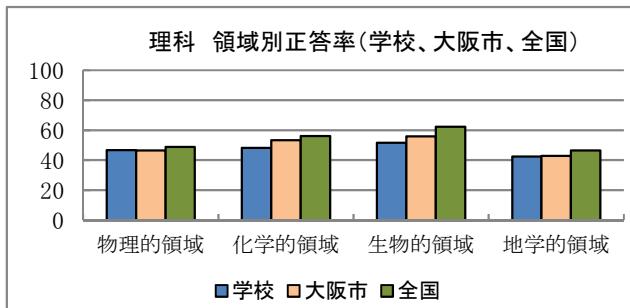
A 問題		平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	数と式	12	63.7	65.7
	図形	12	58.3	60.5
	関数	8	60.4	60.0
	資料の活用	4	49.0	59.7

B 問題		平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	数と式	4	58.9	60.8
	図形	4	37.5	38.0
	関数	5	30.4	30.1
	資料の活用	2	21.9	28.0



【 理 科 】

		平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	物理的領域	7	46.7	46.4
	化学的領域	7	48.2	53.3
	生物的領域	6	51.7	55.8
	地学的領域	6	42.4	42.9



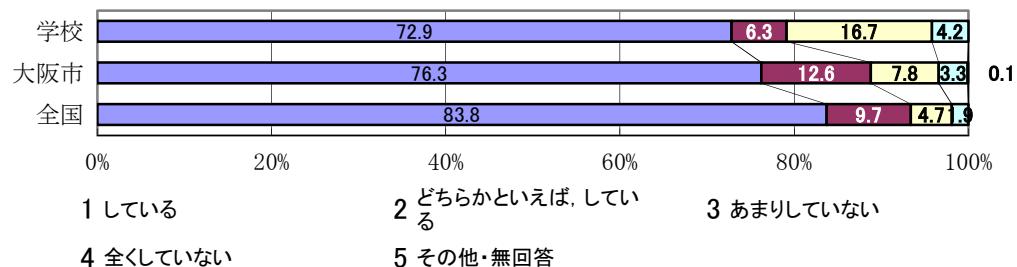
生徒質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9

質問番号
質問事項

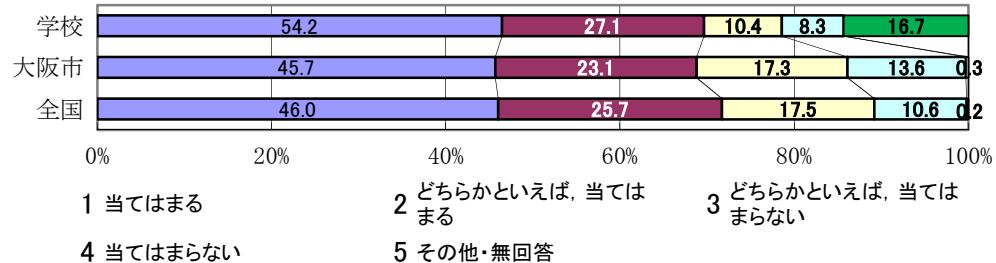
1

朝食を毎日食べていますか



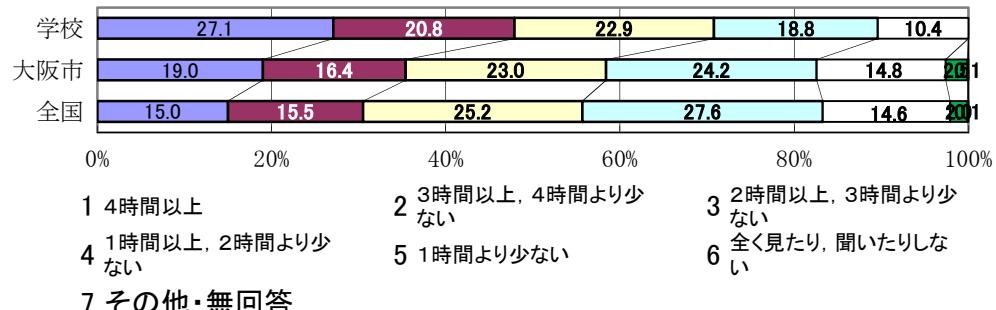
9

将来の夢や目標を持っていますか



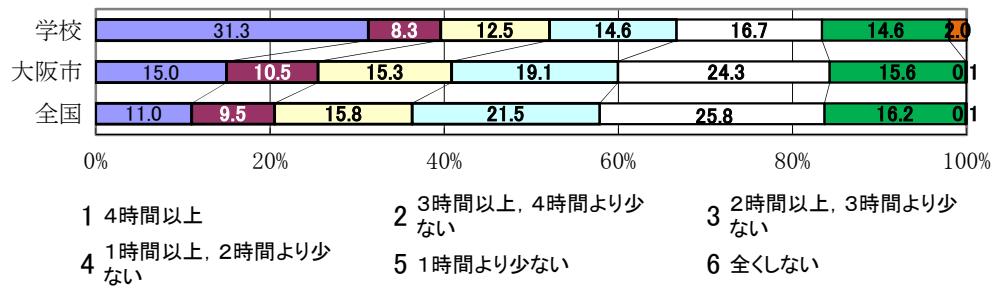
10

普段(月～金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, テレビやビデオ・DVDを見たり, 聞いたりしますか(勉強のためのテレビやビデオ・DVDを見る時間, テレビゲームをする時間は除く)



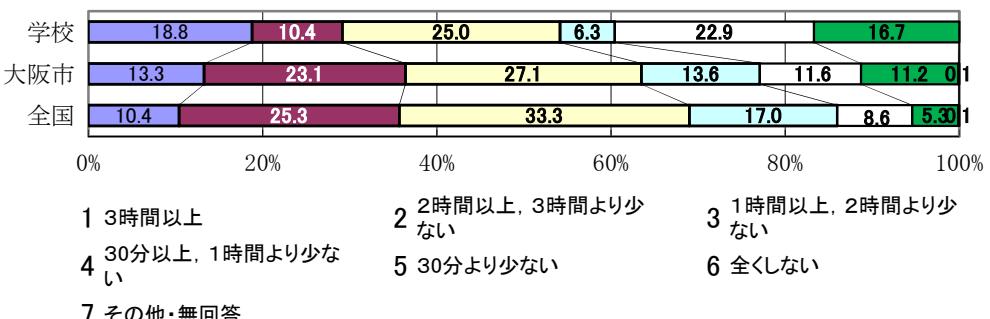
11

普段(月～金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, テレビゲーム(コンピュータゲーム, 携帯式のゲーム, 携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか



13

学校の授業時間以外に, 普段(月～金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, 勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)



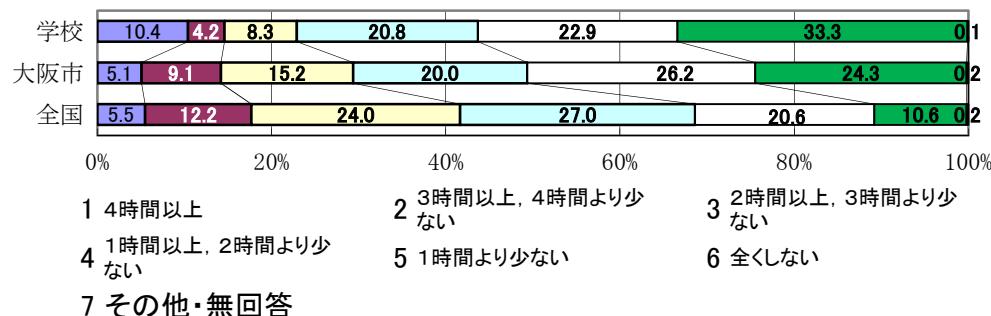
生徒質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9

質問番号
質問事項

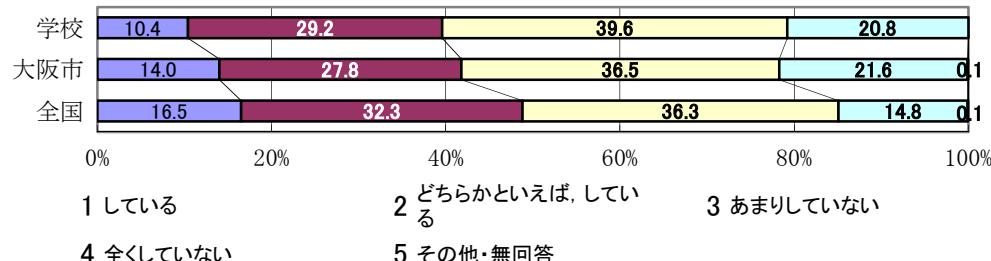
14

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)



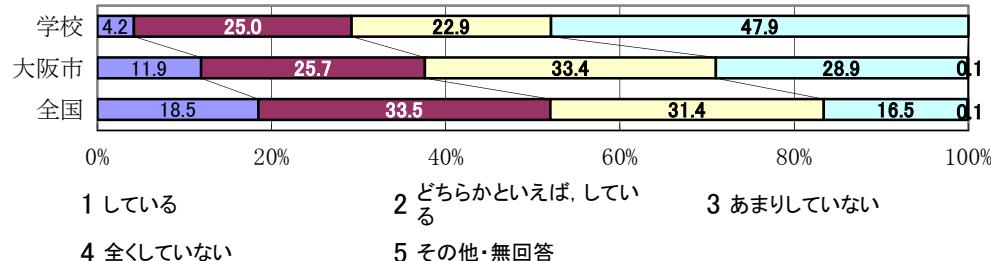
20

家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか



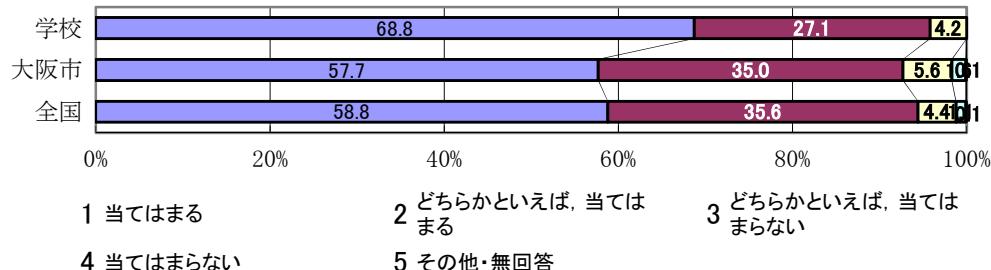
23

家で、学校の授業の復習をしていますか



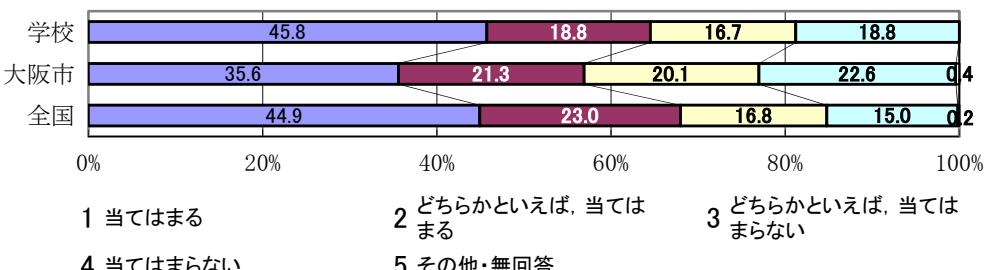
32

学校の規則を守っていますか



51

読書は好きですか



学校質問紙より

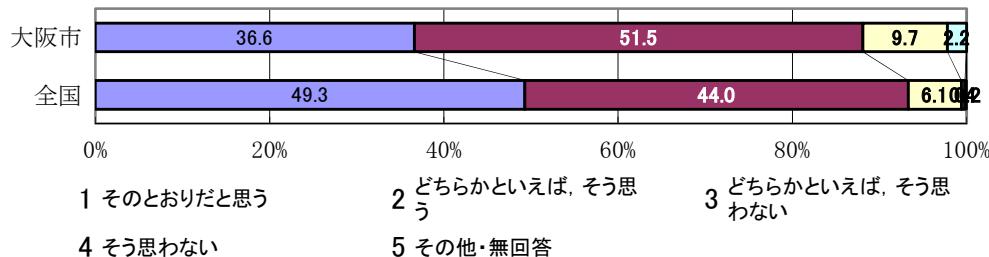
□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

17

調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

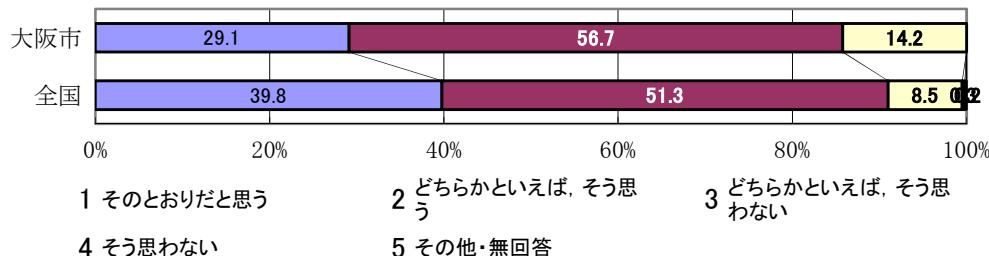
学校 「そのとおりだと思う」を選択



18

調査対象学年の生徒は、礼儀正しいと思いますか

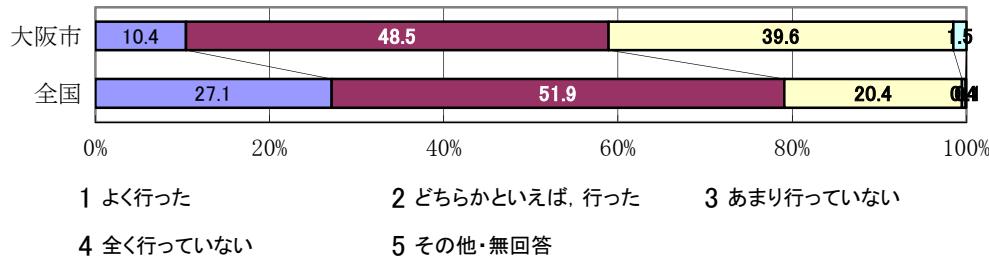
学校 「そのとおりだと思う」を選択



36

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしましたか

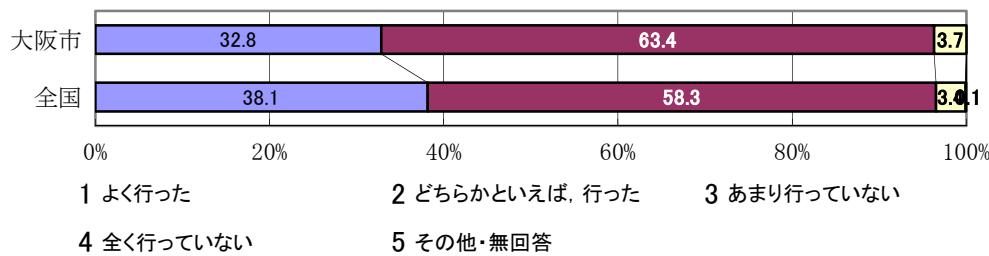
学校 「よく行った」を選択



41

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか

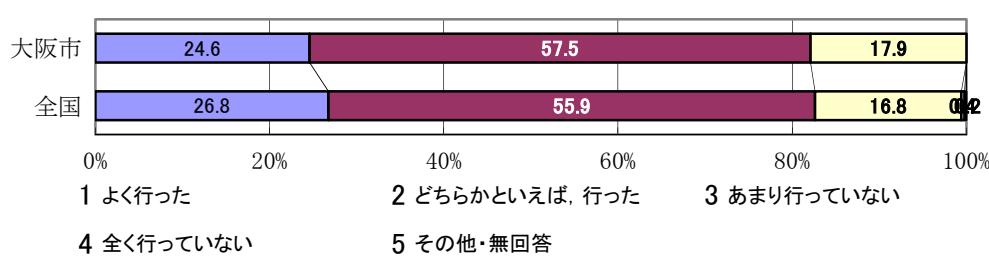
学校 「よく行った」を選択



42

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか

学校 「よく行った」を選択



学校質問紙より

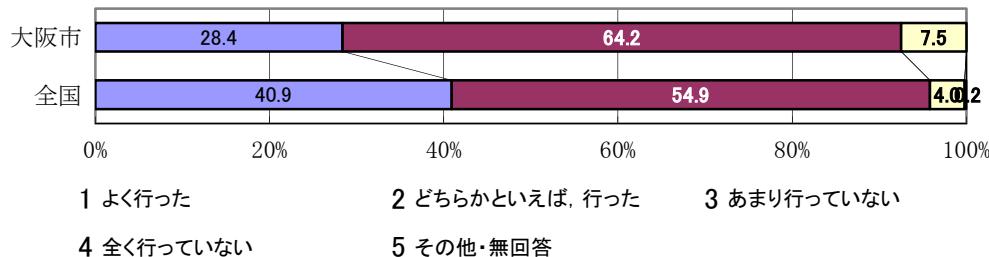
□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

43

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学校生活の中で、生徒一人一人のよい点や可能性を見付け、生徒に伝えるなど積極的に評価しましたか

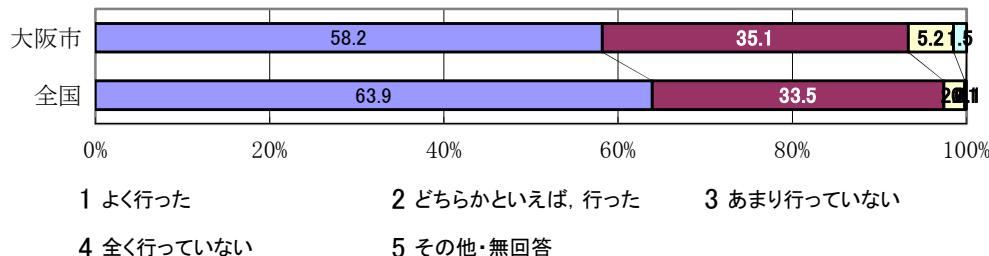
学校 「よく行った」を選択



44

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学習規律（私語をしない、話をしている人の方に向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど）の維持を徹底しましたか

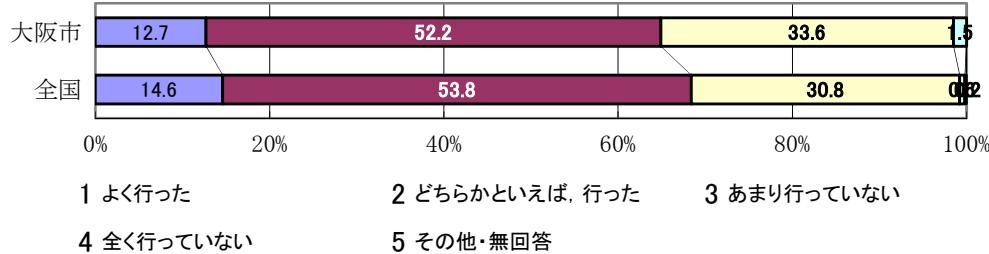
学校 「よく行った」を選択



45

調査対象学年の生徒に対して、前年度に、教科や総合的な学習の時間、あるいは朝や帰りの会などにおいて、地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱いましたか

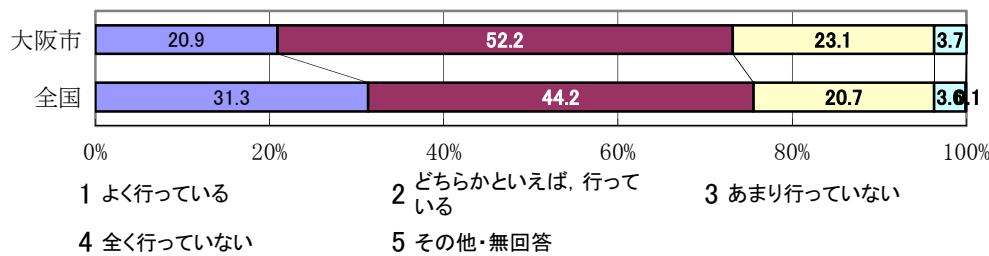
学校 「よく行った」を選択



79

教科の指導内容や指導方法について近隣の小学校と連携（教師の合同研修、教師の交流、教育課程の接続など）を行っていますか

学校 「よく行っている」を選択



83

職場見学や職場体験活動を行っていますか

学校 「行っている」を選択

